

五塚原古墳

いつかはら こぶん



~いろいろな古墳~

たくさんあるのね。

- 

① 前方後円墳…… 円形と方形を重ねた日本独自の形を持つ古墳です。
- 

② 前方後方墳…… 方形の隣に長方形の前方部がつく古墳です。
- 

③ 帆立貝形古墳…… 円墳に低く短い突き出た部分がついた形の古墳です。
- 

④ 方墳…… 平面形が四角形からやや長方形の墳丘を持つ古墳です。
- 

⑤ 円墳…… 平坦な墳頂を持つ円すい形の古墳です。
- 

⑥ 上円下方墳…… 墳丘の下端が方墳で、上段に円墳が乗った形の古墳です。
- 

⑦ 八角墳…… 墳丘の平面形が八角形の古墳です。



高さを表す図を測量図といふんだよ。こうして上から見ると、とても見晴らしの良い所に古墳をつくっていたことがよくわかるね。

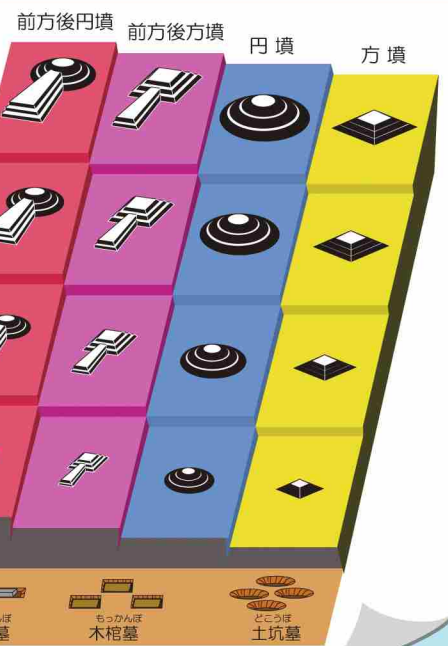
ホント~!! 詳しく書いてあるわ

さあ行こう!

▲五塚原古墳測量図



古墳の階層性



大きさと形で 葬られた人の 地位を 表すんだ。



発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 TEL.075-931-1111

五塚原古墳の特徴

- 前方部の形は、三味線の^{しやみせん}パチに似ているので「パチ形」と呼ばれています。前方後円墳出現期の古墳であることを表します。
- くびれ部は幅がせまく、鞍部の高さが最も低くつくられています。
- ▲ 後円部の頂上には、標高 69.4mの三角点が設置されています。

古墳の大きさはどのくらい？

全長 91.2m

後円部直径	54m	高さ	8.7m
前方部長さ	40.5m	高さ	4m
くびれ幅	15m	高さ	2.1m

古墳の大きさ、高さを
実際に歩いて体験してみよう!!

古墳のすぐ西側にある
芝山公園には、古墳へ登る階段が
あって、上を自由に散歩できるわよ!

上から見ると...

かぎ穴みたいだね!

ほんごだ!



～完存する前期の古墳～

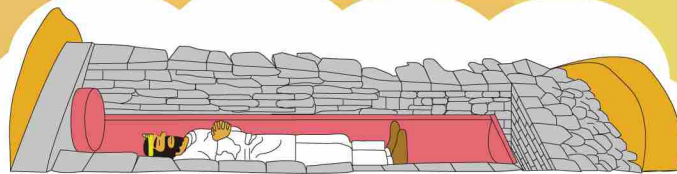
向日市役所の北方、寺戸町の「はり湖池」の西側に見える丘の上には、古墳時代前期の前方後円墳があります。3世紀後半頃の古墳で、完全な形で残っています。しかし、墳丘の一部を発掘調査しただけなので、埋葬施設や古墳のつくり方はまだ謎にまつまれています。

古墳全体の 模式図



後円墳の頂上には

大きなくぼみがあって、この地下に^{せっかく}竪穴式石槨の存在が想定されています。



▲想像図

こんな風に
寝かされたのね!

古墳のまわりの景色 はり湖池の役割

向日丘陵には、はり湖池をはじめ、数多くのため池があります。谷をせき止めてつくられた池は、水田用水として鎌倉時代から重要な役割を果たしていました。はり湖・大池の周辺は散策路として整備され、四季折々の美しさを楽しむことができます。

その後の五塚原

後円部の東約17m離れた平坦地で、飛鳥時代(7世紀)の「^{こがたどくせん ぶつ}小型独尊せん仏」と呼ばれる仏像をレリーフした壁材が採取されています。宝菩^{ほうぼ}提院^{だいいん}の仏堂^{ぶつどう}があった可能性があります。

飛鳥時代には
信仰の場になつたのかな?

葺石の組立て方

^{きていせき} 葺石に扁平な石材を使い、裏込めを用いず構築します。弥生時代のお墓の伝統を引き継ぎます。

葺石の役割

^{もりつち} 盛土を保護し、墓を飾る目的で置かれた河原石です。

葺石の大きさ

裾の部分で人の頭ほどの基礎石が発見されました。



▼小型独尊せん仏図

